



佐原の大祭見物後(KOMPASで)
熊谷知事と意見交換した市のメンバー

清流

河野節子を育てる会

千葉県香取市小見川1025
電話 0478(83)1928
発行責任者 和田澄子

ホームページ
http://www.glinin.com/seisaku_kanri/



例年にない猛暑日が続いた今年の夏、九月に入つてもまだ暑く、十月に入ると今迄の暑さは何だつたのと驚く程に、一気に秋の訪れとなりました。皆様、いかがお過ごですか?

神が色づき、コスモスが咲き、秋風が吹いて参りました。極端な気温の変化に体がついていけません。温暖化のせいです、これから毎年暑い夏になりますのかと思うと憂鬱です。秋祭りや文化祭、各地区での催し物も面白押しのようで楽し

残すところ今年も二ヶ月余りとなりました。一週間があつて、つとく間に過ぎてしまはず。そう感るのは、年を重ねた私がでしょか?残された年月が十年か、二十年かわからませんが、一日一日を大切に過ごしていこうと考える傾向です。寒に向かって行きますので、皆様体調を崩さずお過ごしくださいませ。清流「第9号」をお届け致ます。

（和田）

議案第一号の補正予算8千円は先議を求められ、議会初日に可決。この補正予算については、8月22日の全員協議会で説明を受けたものですが、観光庁が公募を行つた観光再始動事業に香取市の提案した「江戸優り佐原の水辺空間輝わい創出事業」佐原河岸 年中樂しい・嬉しい・美味しいゴージャスマイナイトクルージング・それぞれの河岸日和」が採用され、8千万円の全額国庫補助により事業を行うものです。事業内容としては、10月から2月の週末の夜に、特別な空間として佐原河岸を光で演出し、ナイトクルージングや、

伝統文化体験、夜市や発酵食ワークショップなどを、主に外国人客向けコンテンツとして磨き上げ、東京や成田空港に立ち寄る訪日客を誘致し、地域経済の活性化を目指すもの。議案第二号は一般会計の補正予算で、歳入、歳出それぞれに10億4887万6千円を追加し、予算総額を374億5288万5千円とするもので、その主なものは、

*減債基金積立金—5億円
*開発用地調査委託料—500万円（地域未来投資促進法に基づき、成田空港周辺地域について、空港出口から5km、高速道路出口から3km、国道と国道の交差点から3km以内に物流施設を対象とした用地調査）
*公的介護施設等整備費—656万円（岩部の「グループホームたすけあい」に認知症対応施設開設準備金補助）
*保育運営委託事業—542万5千円（民間保育所の業

*さつまいも生産拡大緊急プロジェクト事業補助金—8098万一千円（県の新規事業で、さつまいもの貯蔵庫や育苗ハウスのもの腐れ病対策。県補助の90%を香取市内農家が活用）
＊公園維持管理費—318万2千円（城山公園階段に手すり及びベンチ設置、両総用水脇の堤防に入る手すり設置）
＊スポーツセンター管理費—415万4千円（小見川スポーツコミュニケーションセンター建設）
内でのトレーニング機器購入）
旧府馬小学校を個人的
成算的に利活用決定
議会最終日に追加提案された
議案第十号「財産の無償貸付
けについて」の案件は全会一致で可決されました。
この案件は、旧府馬小学校の
校舎及び屋内運動場等を金井工業株式会社と㈱J forces one HOLDINGS（重兵衛の持
ち株会社）に無償で10年間貸し付けるというものです。

議会本会議終了後、議員全員
協議会が開かれ、「防災ラジオの貸与方針」についての説明がありました。
老朽化した防災行政無線設備の更新及びデジタル方式への移行を行うため、現在更新工事を行っているが、これに合わせて個別受信機もデジタル方式に対応した機種を導入予定
機種機能—電波出力20W、外部アンテナの設置不要、ラジオ機能付き、文字表示機能付き
購入額—標準型2万5千円
文字表示機能付き3万3千円
市民貸与額—市民は無償
(2台目以降の貸与は6千円)
法人は6千円
貸与対象者—①住民基本台帳に記載されている者で構成された世帯の世帯主(無償)
②市内に事務所または事業所を有する法人(6千円)
③生活保護法に基づく被保護世帯(無償)

務効率化推進事業に762万5千円、保育補助者雇用強化事業に3724万8千円、医療的ケア児保育支援事業に776万円の補助金)

事業内容は、*建築職人を育成する学校運営 *障害者の就労支援 *地域交流の場となるカフェ及び食堂運営 *その他布団のクリーニング、コインランドリー、スポーツジム事業も計画するということです。

地元地域での説明会も開かれたそうで、閉校となつた学校の利活用がうまくいきますよう、頼っています。

- ④防災上必要と認めた施設（避難所等）
- ⑤聴覚障害を理由として身体障害者手帳の交付を受けている世帯（無償）

河野義員の活動報告

河野義員の活動報告

卷之三

卷之三

卷之三

一月の開く
会議小見川開
催行会開催

副議長も一般質問可能という議会決定を受けて、9月議会では香取市の教育問題について質問をしました。

堀越教育長の教育理念と香取市の教育の目指すべき目標は?

教育長 令和2年策定の「第二次香取市教育ビジョン」で位置づけている3つの基本理念は、①自分で判断しながら生き抜く力の養成 ②地域全体で教育の向上に取り組む街を目指す ③ふるさと香取の歴史や文化を学び、自然や人を愛する心を育成し、生涯学び続ける環境整備

この基本理念をもとに、基本目標を「歴史文化・自然に包まれて、たくましく心豊かな未来を創る人づくり」としている。

義務教育はその基礎となるべき学力をつけさせなければならぬが、香取市の学力が10年来全国平均より低いまま横ばいを続けている。その対策は?

教育長 各校の担当者対象の研修会で、全国学力・学習状況調査の結果分析や課題の整理と共有を行っている。各学校の実態が異なるが、共通する取り組みとして「思考し、表現する力を高める実践プログラム」を活用した授業改善や、「学んだことを振り返り自分の言葉でまとめる」活動、言語活動の充実等を行つ

ている。

また、家庭学習の充実に向け、保護者用リーフレット「家庭学習の始め」児童生徒用には「家庭学習の手引き」を配布して啓発を行つていている。

子供たちに毎日30分程度の読書習慣をつけると2時間の学習に匹敵するという研究結果もあるが、香取市の学校での読書活動の実態は?

教育長 「朝の読書」や教科書教材やその作者と関連した図書を読む「並行読書」等全ての学校において読書活動を行つていて、その結果によれば、上皇ご夫妻も行つて欲しい。

部活動の地域移行は可能か

教育長 部活動本来の意義をどのように考へておられるか?

部活動は、単にスポーツや芸術等の技能を身につけるだけではなく、自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成し、自己の力の確認、努力による達成感、充実感を実感したり、互いに競い合ったり、協力する中で友人間関係の形成にも寄与している。

部活動の地域移行が提言されているが、どのように実現していくのか?

教育次長 全国的な課題として、少子化や教職員の働き方改革があり、これまでの部活動の維続が難くなっている。

そこで、具体的な方策として学校と地域の連携、協働が欠かせず、具体的な方策として学校部活動の地域連携並びに地域の運営団体等による地域クラブ活動への移行が提言されている。

香取市も例外ではなく、将来をたくましく生きる人格の形成に寄与していくため、効果的、効率的な部活動の地域連携及び地域クラブへの移行を進めるべく準備中。

R5年度は小見川陸上クラブが休日の受け皿となる予定だが、香取市の自然資源である黒部川を活用した水上スキーは地域の指導者もいるので、カヌー部の復活を望む。

部活動を地域移行する場合の課題は?

教育次長 ①「指導者の確保及び地域クラブ活動団体の設立支援」②「教職員と地域クラブ指導者との連携」③「保護者への経済的負担の軽減」が主な課題である。

部活動を地域移行する場合の課題は?

教育次長 教育の一環として、わが国のスポーツ、文化の振興に大きく寄与している部活動は、単にスポーツや芸術等の技能を身につけるだけではなく、自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成し、自己の力の確認、努力による達成感、充実感を実感したり、互いに競い合ったり、協力する中で友人間関係の形成にも寄与している。

部活動を地域移行した場合の課題は?

教育次長 各校の担当者対象の研修会で、全国学力・学習状況調査の結果分析や課題の整理と共有を行つて、各学校の実態が異なるが、共通する取り組みとして「思考し、表現する力を高める実践プログラム」を活用した授業改善や、「学んだことを振り返り自分の言葉でまとめる」活動、言語活動の充実等を行つて取り組んで欲しい。

総務政策常任委員会では、公共交通施策について毎月委員会を開催、将来的な市民の利便性を考慮しながら公共交通の在り方を研究しております。

10月10日、11日には京丹後市の「ささえ合い交通」と養父市の自家用有償観光旅客等運送事業「やぶくる」の取り組みを視察研修してまいりました。

高齢者福祉課題

10月10日、11日には京丹後市の「ささえ合い交通」と養父市の自家用有償観光旅客等運送事業「やぶくる」の取り組みを視察研修してまいりました。

また保険についても、ドライバー自身の保険よりも優先する2種類の団体保険に加入

（対人・対物無制限と、乗車降車前後のけがも保証する損害賠償保険）

利用者からの反応は好評だがこの方法を導入するにあたつてのハードルはやはりタクシ

ー業者との調整が大変だったそうです。

偶々旧丹波町では、一つあつたタクシー会社が廃業してしまつたため、「丹波町まちづくり協議会」が住民主体で持

つています。

乗車は旧丹波町のみ、降車は京丹波町全域（6町の合併で京丹波町になつたため）で、運賃は最初の1.5kmまで480円、以遠は120円/km加算（概ねタクシー料金の半額）

運行時間は午前8時から午後8時（年中無休）

いわゆる今話題の「ライドシェア」というものですが、「ささ

え合い交通」の特徴は、Uber（ウーバー）を利用して、利用者は近くに配車や運行記録などを管理しているという事。利用者やドライバーはUberのアプリを利用して、利用者は近くにいるドライバーを呼び出すことができ、ドア-to-ドアで移送を頼めるのです。アプリの使い方に慣れない人や、前日からの予約を希望する高齢者にはNPOが電話を受けて交代

で配車をしてくれるので、問題ないとのこと。

運転手となる住民には認定講習を受けてもらい、安全運行管理の徹底を図るために、毎日健康診査やアルコールチェックなども実施し、今まで無事に運転反復して、2種免許がなくても安心、安全に走行できているとのこと。

高齢者福祉課題

2018年に運行を開始した「やぶくる」はタクシー会社が運行管理者となつて運営されています。

養父市の中でも鉄道の駅から遠く離れたタクシー空白地域（関宮地域と大屋地域）に交通手段が求められ、市が主導で「やぶくる」準備検討会を立ち上げ、NPO法人を設立。困難だった事業者との調整も

困難だった事業者との調整も

毎月開催される検討会議の中で協力関係を築いていった。

タクシー会社に不利益にならないよう、関宮、大屋地域内のみの運行で、料金は初乗

り2kmまで600円、加算額

は750mにつき100円加算（タクシー料金の5~7割）

運行時間は毎日8時~17時（12/30~1/3除く）

利用方法は電話で市内タクシ

ー会社に「やぶくる」お願ひしますと依頼。

登録ドライバーの講習の他、安全管理、アルコールチェックなどはタクシー会社がTV

通話での点呼を実施。

保険については、ドライバーの保険使用。

行政からの補助は上限で年100万円。

兵庫県養父市は内閣総理大臣主導の国家戦略特区として、2014年に指定を受け、まずは農業関係の規制改革から始まり、多岐にわたる規制改革を実践する中で、過疎地域

での自家用車による観光客を含めた旅客運送を可能にしたものです。